

2015年度 看護系大学の教育等に関する実態調査

看護系大学の教育等に関する実態調査のお願い

本調査は、一般社団法人 日本看護系大学協議会の事業の一環として、対象年度に学生を受け入れている、全ての看護系大学を対象として毎年実施されているものです。調査の目的は、看護系大学の学生や教員の状態、社会貢献や研究活動の成果・発信等の実態を把握し、日本の保健医療や社会の動向を踏まえた看護学教育のあり方を検討したのち、教育政策、看護政策等に提言するための基礎資料とすることです。

なお、本調査票を提出する前に、社員（＝代表者）または看護系学部・学科に所属する教員が、責任をもって回答内容の最終チェックを行ってください。

本調査の結果は、貴重なデータとなりますので、会員校のすべての皆様にご協力頂けるよう、何卒お願いいたします。

アンケートの提出締切日について

誠にお手数ですが **2016年12月7日(水)** までにご回答をお願いいたします

アンケートの回答方法について

- [1つだけ○]の場合は、左記のラジオボタンをクリックで回答してください。回答を間違ってしまった場合は、**右記の赤い「クリア」**に表示されている数値を削除すると回答がリセットされます。 クリア
1 ← ここに表示されている番号をDeleteキーで削除します
- [いくつでも○]の場合は、左記のチェックボックスをクリックで回答してください。回答を間違ってしまった場合は、その箇所を再度クリックすることでリセットされます。
- 枠の場合は、数値(青)もしくは文字(黄)にて回答してください。

アンケートの問い合わせ先

1. 調査の内容、集計に関すること ※お問い合わせはメールでお願いいたします。
国際医療福祉大学小田原保健医療学部
(データベース委員会 委員長 荒木田 美香子)
e-mail : arakida@iuhw.ac.jp
2. 学校コード、パスワードに関すること
一般社団法人日本看護系大学協議会事務局
e-mail : office@janpu.or.jp
電話 : 03-6206-9451 FAX : 03-6206-9452

貴大学の情報について

大学コードを入力してください。※「大学名」と「設置主体」は、自動で表示されます。

大学コードがわからない場合は、クリックしてください

大学コード 大学コード表

大学名

設置主体

ご所属名 お名前

回答責任者

※社員（＝代表者）または看護系学部・学科に所属する教員が、責任をもって回答内容の最終チェックを行ってください

1. 看護系学部・学科について

Q 1. 看護系の学部・学科は、2015年度において卒業生を出しましたか。〔1つだけ○〕

1. 出している 2. 出していない

Q 2. 看護系の学部・学科に編入制度はありますか。〔いくつでも○〕

1. 3年次編入（有資格者）制度がある 2. 2年次学士編入制度がある 3. ない

↓ Q 2で「1. 3年次編入（有資格者）制度がある」と回答された方にお聞きします

Q 3. 2015年度入学者の出身学校種別の内訳を教えてください。〔数値回答〕

①専修学校卒業者数	②短期大学卒業者数
人	人

Q 4. 看護系学部・学科の構成員として所属する全教員数を教えてください。〔各数値回答〕

※2015年度(2015年5月末日時点)の状況で回答ください。 ※全教員数には「附属研究機関」も含んでください。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	合計	教授	准教授	講師	助教	助手	その他 ※1	未充足数 ※4
全体	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
★ 看護教員 ※2	0 人							
それ以外の教員 ※3	0 人							

□ は自動計算されます 0人の場合は「0」を入力してください

- ※1 「その他」の定義は、教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者などは含まない。
- ※2 「看護教員」とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
- ※3 「それ以外の教員」とは、看護教員(看護師免許を有する教員)以外の教員のこと。
例えば、基礎医学や英語、体育等の教養科目や基礎科目を担当している教員のこと。
- ※4 「未充足数」とは、募集しているにもかかわらず、適任者を得られていない人数。
- ※5 特任教員も「構成員」に含まれる。
- ※6 臨床教員は「構成員」に含まれない。

Q 5. 看護系学部・学科に所属する看護教員の年齢別人数を教えてください。〔各数値回答〕

※2015年度(2015年5月末日時点)の状況で回答ください。 ※看護教員数には「附属研究機関」も含んでください。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	合計	29歳以下	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
★ 看護教員計	0 人									

□ は自動計算されます 0人の場合は「0」を入力してください

Q 6. 看護系学部・学科に所属する看護教員の最終修得学位別名称の人数を教えてください。〔各数値回答〕

※2015年度(2015年5月末日時点)の状況で回答ください。 ※看護教員数には「附属研究機関」も含んでください。

	①	②	③	④	⑤
	合計	学士	修士	博士	学位なし
★ 看護教員計	0 人	0 人	0 人	0 人	
学位の種類	看護学	0 人			
	保健学	0 人			
	医学	0 人			
	教育学	0 人			
	学術	0 人			
	その他	0 人			

□ は自動計算されます 0人の場合は「0」を入力してください

注1 教員一人あたりひとつの学位(最上位の学位)でご記入ください。同等の学位を二つ以上お持ちで、その中に看護学が含まれる場合は、看護学を最優先してご記入ください。

注2 準学士・短期大学士(短期大学卒業)は学位なしに含みます。

★ Q4、Q5、Q6の太枠「看護教員」の合計人数は、必ず一致させてください

2. 看護系大学院について

Q 7. 看護系の大学院はありますか。〔1つだけ〇〕

※2015年度においてご回答ください。

1. ある 2. ない → Q13へ進む

Q 7で「1. ある」と回答された方にお聞きします

Q 8. 看護系の修士課程・博士前期課程は完成年次を迎えていますか。〔1つだけ〇〕

※2015年度においてご回答ください。

1. 完成年次を迎えている 2. 完成年次を迎えていない

Q 7で「1. ある」と回答された方にお聞きします

Q 9. 看護系の博士課程・博士後期課程は完成年次を迎えていますか。〔1つだけ〇〕

※2015年度においてご回答ください。

1. 完成年次を迎えている 2. 完成年次を迎えていない 3. 開設していない

Q 7で「1. ある」と回答された方にお聞きします

Q10. 看護系大学院の開講状況について〔1つだけ〇〕

※2015年度においてご回答ください。 ※夜間開講の定義は「18時から開講」すること。

1. 平日昼間開講のみ 2. 平日夜間・土日開講のみ 3. 1と2の両方を開講

Q 7で「1. ある」と回答された方にお聞きします

Q11. 看護系大学院の科目等履修制度の設置について〔1つだけ〇〕

※2015年度においてご回答ください。

1. 設置している 2. 設置していない

Q 7で「1. ある」と回答された方にお聞きします

Q12. 看護学系大学院に構成員として所属する教員数を教えてください。〔各数値回答〕

※2015年度(2015年5月末日時点)の状況で回答ください。 ※教員数には「附属研究機関」も含んでください。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	合計	教授	准教授	講師	助教	助手	その他 ※1
全体	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
看護教員 ※2	0 人						
それ以外の教員 ※3	0 人						

は自動計算されます 0人の場合は「0」を入力してください

- ※1 「その他」の定義は、教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者などは含まない。
 ※2 「看護教員」とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
 ※3 「それ以外の教員」とは、看護教員(看護師免許を有する教員)以外の教員のこと。
 例えば、基礎医学や英語、体育等の教養科目や基礎科目を担当している教員のこと。
 ※4 特任教員は「構成員」に含まれる。
 ※5 臨床教員は「構成員」に含まれない。

3. 看護系大学学部・学科、大学院の学生情報について

Q13. 看護系の学部・学科、大学院の全在学生数を教えてください。〔各数値回答〕

※2015年度(2015年5月末日時点)の状況で回答ください。

	①		②		③	
	合計	人	男	人	女	人
学部生	0	人		人		人
うち編入学生	0	人		人		人
修士課程または博士前期課程院生	0	人		人		人
博士後期課程院生	0	人		人		人

0人の場合は「0」を入力してください

■は自動計算されます

Q14. 看護系の学部・学科、大学院の入学状況を教えてください。〔各数値回答〕

※2015年度(2015年4月入学生)の状況で回答ください。

	①		②				③				④				⑤				⑥				⑦							
	入学定員		志願者数								入学者数																			
			計		男		女		計		男		女																	
学部生		人	0	人		人		人	0	人		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人
修士課程または博士前期課程院生		人	0	人		人		人	0	人		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人
博士後期課程院生		人	0	人		人		人	0	人		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人

■は自動計算されます 0人の場合は「0」を入力してください

Q15. 看護系の学部・学科、大学院の卒業・修了状況を教えてください。〔各数値回答〕

※2015年度(2016年3月末日時点)の状況で回答ください。

	①		②		③		④		⑤													
	卒業生	修了生	卒業時取得・既取得免許																			
		看護師	保健師	助産師	養護教諭1種																	
学部卒業		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人
うち編入学		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人
専攻科修了		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人
修士課程修了		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人
うち専門看護師課程		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人
博士後期課程修了(注)		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人
論文博士号取得		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人		人

0人の場合は「0」を入力してください

(注)博士後期課程修了とは、修了要件(修業年限内の必要な単位取得と論文審査および最終試験の合格)を満たし博士の学位を取得した者であり、単位取得(満期)退学は含まない。

Q16. 看護系の学部・学科、大学院の卒業・修了生の就職または進学状況を教えてください。
〔各数値回答〕

※2015年度(2016年3月卒業・修了時点)の状況で回答ください。

		①	②	③	④
		学部 卒業生	修士修了生		博士後期 課程 修了生
			計	専門看護 師課程	
就 職 者	病院・診療所	人	人	人	人
	介護・福祉施設関係	人	人	人	人
	訪問看護ステーション	人	人	人	人
	保健所・市町村・健診センター	人	人	人	人
	企業	人	人	人	人
	学校(教諭として)	人	人	人	人
	大学・短大・研究機関等	人	人	人	人
	専修・各種学校	人	人	人	人
	その他(行政職を含む)	人	人	人	人
進 学 者	国内の大学院(看護系)	人	人	人	人
	国内の大学院(看護系以外)	人	人	人	人
	助産師課程(専攻科、別科、専修学校等)	人	人	人	人
	国内の他学部	人	人	人	人
	海外留学	人	人	人	人
	その他	人	人	人	人
その他		人	人	人	人

4. 看護系学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動について

Q17. 看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動についてお聞きします。〔各数値回答〕

※2015年度(2015年4月末日時点)の状況で回答ください。 ※医療系の資格をもたない教員も含まれます。
 ※研究代表者の方のみご記入ください。(分担研究者は除く)

		①			②		③		④	
		取得件数				継続件数		研究費合計金額		
		新規件数								
		申請件数	採択件数							
		2014年11月	2015年4月							
文 部 科 学 省	基盤研究(S)		件		件		件		千円	
	基盤研究(A)		件		件		件		千円	
	基盤研究(B)		件		件		件		千円	
	基盤研究(C)		件		件		件		千円	
科 学 研 究 費 補 助 金	挑戦的萌芽的研究		件		件		件		千円	
	奨励研究		件		件		件		千円	
	若手研究(S・A・B)		件		件		件		千円	
	特別推進研究		件		件		件		千円	
	その他		件		件		件		千円	
厚生労働科学研究費補助金			件		件		件		千円	
財団等の研究助成による研究			件		件		件		千円	
企業等による教育研究奨励費			件		件		件		千円	
企業等による受託研究費			件		件		件		千円	
日本医療研究開発機構(AMED)による研究費			件		件				千円	
その他			件		件		件		千円	

(注1)合計金額は、新規採択分と継続採択分を合わせ、2015年度に配分された総合計金額(間接経費を含む)をご記入ください。
 (注2)外国政府などによる外貨での実績は、円換算して表記してください。

5. 公開講座について

Q18. 2015年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

実施した公開講座の件数 件

講座のテーマ

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

B. 看護職者等の専門職向け講座

実施した公開講座の件数 件

講座のテーマ

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

C. その他

実施した公開講座の件数 件

講座のテーマ

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

6. FDの状況について

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD（ファカルティ・デベロップメント）の状況について伺います。2015年度内に開催されたFDの件数とテーマをご記入ください。

看護系単科大学の場合は「B. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD」に記入してください。

A. 全学主催のFD

開催された件数 件

FDのテーマ

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

B. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

開催された件数 件

FDのテーマ

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

7. 教員および学生の評価について

Q20. 2015年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の取り組みについて伺います。

A. 教員の自己評価・他者評価が実施されていますか。〔1つだけ〇〕

- 1. 実施している ○ 2. 実施していない ○ 3. 検討中

B. 学生の授業評価を実施していますか。〔1つだけ〇〕

- 1. 実施している ○ 2. 実施していない ○ 3. 検討中

C. GPA制度を導入していますか。〔1つだけ〇〕

- 1. 導入している ○ 2. 導入していない ○ 3. 検討中

8. 看護関連の研修および附属施設・研修機関について

Q21. 貴大学には、看護関連の研修事業がありますか。〔いくつでも〇〕

1. 認定看護師教育課程 2. 認定看護管理者教育課程 3. 実習指導者講習会 4. 看護教員養成課程
 5. その他 6. 研修事業がない

Q22. 貴大学における、看護関連の附属研究・研修機関について伺います。

A. 看護関連の附属研究・研修機関の有無〔1つだけ〇〕

- 1. ある ○ 2. ない [Q23へ進む](#)
 ↓ Q22-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きします

B. 組織構成について人数をご記入ください。〔各数値回答〕

※2015年5月末日時点の人数をご回答ください。

	①		②		③	
	合計		専任		兼任	
教員	0	人		人		人
研究員	0	人		人		人
職員	0	人		人		人
その他	0	人		人		人

0人の場合は「0」を入力してください

は自動計算されます

Q22-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きします

C. 財政基盤について〔いくつでも〇〕

1. 大学の予算内 2. 国・自治体の助成 3. 民間の助成
 4. その他

Q22-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きします

D. 活動内容について〔いくつでも〇〕

1. 市民向けの生涯学習・健康教育 2. 国際交流
 3. 共同研究 4. 教員や研究員による看護実践の提供
 5. 看護職のための継続教育 6. 講師の派遣
 7. 認定看護師教育課程
 8. その他

9. 国際交流の状況について

Q23. 2015年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

A. 国際交流協定校・施設（姉妹校を含む）がありますか。〔1つだけ〇〕

1. ある

2. ない

→ Q23-Cへ進む

↓ Q23-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きします

B. 国際交流協定校・施設の学校数（施設数）を国別にお教えてください。

※①～⑩の欄に学校数の多い順にご記入ください。

国名		学校数	国名		学校数
①		校	⑥		校
②		校	⑦		校
③		校	⑧		校
④		校	⑨		校
⑤		校	⑩		校

C. 看護系の学部・学科、大学院の在学生の留学先の国名と人数をお教えてください。

※①～⑩の欄に人数の多い順にご記入ください。 ※留学先は、単位取得できるものとします。 ※研修は除いてください。

国名	留学者数		国名	留学者数	
	計	公費補助		計	公費補助
①	人	人	⑥	人	人
②	人	人	⑦	人	人
③	人	人	⑧	人	人
④	人	人	⑨	人	人
⑤	人	人	⑩	人	人

D. 看護系の学部・学科、大学院への留学生の受け入れの人数を国別にお教えてください。

※①～⑩の欄に人数の多い順にご記入ください。 ※研修は除いてください。

国名	受け入れ人数		国名	受け入れ人数	
	計	公費補助		計	公費補助
①	人	人	⑥	人	人
②	人	人	⑦	人	人
③	人	人	⑧	人	人
④	人	人	⑨	人	人
⑤	人	人	⑩	人	人

E. 看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の短期海外派遣の人数を国別にお教えてください。

※①～⑩の欄に人数の多い順にご記入ください。 ※医療系の資格をもたない教員も含まれます。

	国名	短期海外派遣人数	
		計	公費補助
①		人	人
②		人	人
③		人	人
④		人	人
⑤		人	人

	国名	短期海外派遣人数	
		計	公費補助
⑥		人	人
⑦		人	人
⑧		人	人
⑨		人	人
⑩		人	人

F. 看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の長期海外派遣の人数を国別にお教えてください。

※①～⑩の欄に人数の多い順にご記入ください。 ※医療系の資格をもたない教員も含まれます。

	国名	長期海外派遣人数	
		計	公費補助
①		人	人
②		人	人
③		人	人
④		人	人
⑤		人	人

	国名	長期海外派遣人数	
		計	公費補助
⑥		人	人
⑦		人	人
⑧		人	人
⑨		人	人
⑩		人	人

G. 海外からの学生以外の受け入れの人数を国別にお教えてください。

※①～⑩の欄に人数の多い順にご記入ください。 ※学生以外…教員、研究者、実践家等

	国名	受け入れ人数	
		計	公費補助
①		人	人
②		人	人
③		人	人
④		人	人
⑤		人	人

	国名	受け入れ人数	
		計	公費補助
⑥		人	人
⑦		人	人
⑧		人	人
⑨		人	人
⑩		人	人

10. ハラスメント、コンプライアンスに関する取り組みについて

Q24. 2015年度における貴大学のハラスメント防止、コンプライアンスの推進への取り組みについてお伺いします。

A. ハラスメントに関する事項を専門に扱う相談窓口や委員会がありますか。〔1つだけ○〕

○1. 相談窓口だけある ○2. 専門に扱う委員会だけある ○3. 両方ともある ○4. どちらも無い

B. ハラスメント事例の発生がありましたか。〔1つだけ○〕

○1. あった

○2. なかった

→ Q24-Dへ進む

▼ Q24-Bで「1. あった」と回答された方にお聞きします

C. 発生したハラスメント事例に該当するものを選択してください。〔いくつでも○〕

1. 教職員から学生へのハラスメント

2. 教職員から教職員へのハラスメント

3. 学生から学生へのハラスメント

4. その他

D. コンプライアンス※に関する事項を専門に扱う委員会等がありますか。〔1つだけ○〕

○1. ある

○2. ない

※コンプライアンス…法令・学則・教育研究固有の倫理、その他の規則を遵守する事案をいう

11. 大学と実習施設等の教育連携について

Q25. 2015年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

A. 施設で実施されている新人看護師研修や臨床実習指導者研修などを、組織として支援していますか。〔1つだけ○〕

○1. 支援している

○2. 支援していない

→ Q25-Cへ進む

▼ Q25-Aで「1. 支援している」と回答された方にお聞きします

B. よろしければ支援の内容等について、具体的にご記入ください。

C. 実習施設等と大学間において、人事交流（ユニフィケーション）の制度や取り組みがありますか。〔1つだけ○〕

○1. ある

○2. ない

→ Q25-Eへ進む

▼ Q25-Cで「1. ある」と回答された方にお聞きします

D. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

E. 実習施設等との共同研究や合同研修（勉強会）等の制度や取り組みがありますか。
〔1つだけ〇〕

〇 1. ある 〇 2. ない → **Q25-Gへ進む**

▼ **Q25-Eで「1. ある」と回答された方にお聞きします**

F. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

--

G. 実習施設の看護部や実習指導者に対して、臨床教授（臨床准教授・講師を含む）制度を導入していますか。〔1つだけ〇〕

〇 1. 導入している 〇 2. 導入していない → **Q25-Iへ進む**

▼ **Q25-Gで「1. 導入している」と回答された方にお聞きします**

H. よろしければ制度の内容等について、具体的にご記入ください。

--

I. 臨地実習について実習施設の確保等、臨地実習における困ったことやご苦労のある領域にチェックし、その内容を簡潔にご記入ください。

領域		困ったことやご苦労など、その内容を簡潔にご記入ください
1. 基礎看護学	<input type="checkbox"/>	
2. 母性看護学	<input type="checkbox"/>	
3. 小児看護学	<input type="checkbox"/>	
4. 精神看護学	<input type="checkbox"/>	
5. 成人看護学	<input type="checkbox"/>	
6. 老年看護学	<input type="checkbox"/>	
7. 在宅看護学	<input type="checkbox"/>	
8. 地域看護学	<input type="checkbox"/>	
9. その他	<input type="checkbox"/>	

12. 保健師および助産師の教育課程について

Q26. 2015年度における貴大学の保健師および助産師の教育課程についてお伺いします。

A. 保健師教育課程がありますか。〔1つだけ〇〕

1. ある

2. ない

→ Q26-Dへ進む

↓ Q26-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きします

B. 保健師教育課程の定員数についてご記入ください。〔各数値回答〕

①学部	②大学院	③専攻科
人	人	人

0人の場合は「0」を入力してください

Q26-Aで「1. ある」と回答された方にお聞きします

C. 実習施設の確保等、教育課程における課題があれば具体的にご記入ください。

D. 助産師教育課程がありますか。〔1つだけ〇〕

1. ある

2. ない

→ Q27へ進む

↓ Q26-Dで「1. ある」と回答された方にお聞きします

E. 助産師教育課程の定員数についてご記入ください。〔各数値回答〕

①学部	②大学院	③専攻科
人	人	人

0人の場合は「0」を入力してください

Q26-Dで「1. ある」と回答された方にお聞きします

F. 実習施設の確保等、教育課程における課題があれば具体的にご記入ください。

13. ご意見、ご要望

Q27. 本調査に関するご意見、ご要望がありましたらご記入ください。